

ジャパン・コネクション…ボランティアとして参加して 安納恵子

日本語教師としていつも願っていることは、学生たちに生の日本語、生きた日本人や現代の日本文化との新鮮な出会いのときを与えてやりたいということです。一番よいのは日本に行かせることですが、現実にはなかなか厳しくて日本旅行はむずかしく、夢で終わる学生が多いのです。

アメリカにいて似たような体験をさせるにはどうしたらいいだろうかと思い悩んでしまうのです。可能なことのひとつとして、日本語クラスに日本人ボランティアの方々に来ていただいて、多少なりとも日本人と日本語に触れる機会を作っています。これだけでもないよりはずっといいのですが、学生が受身一方であることは否定できません。

最近もうひとつのことが頭に浮かびました。いつも案内が来るシカゴの日本人コミュニティーの活動にボランティアとして学生を参加させたら、日本人と自然な交流ができるのではないかと、自分からも話すし、相手からも話しかけられるし、相手からの質問に対応することになる。これなら規模は小さいが日本に行ったのと同じような効果が少しはあるのではないだろうか。

学生たちに日本人コミュニティー主催のイベントのボランティアをする気があるかとたずねますと、意外に積極的に何人かの人が手を上げました。そこで具体的にどんなイベントがあるか調べて学生参加の可能性を考えてみました。今年は二つのイベントにボランティアとして参加してみることにしました。

最初に6月のスコOKIE町のFestival of Culturesです。これは世界のいろいろな民族が自分の国の文化を発表し、今年も35ぐらいの民族が参加したのです。MAJJCもひとつのブースを出すというので、ボランティア参加を申し込みましたら、快く引き受けてくださいました。二人の学生がボランティアとして参加し、MAJJCのプレゼンテーションのお手伝いをさせていただきました。待ち合わせの時間に来られずに帰った人もいました。また私も待ち疲れて帰りました。いつも何人か遅れて来ます。

もうひとつは6月のMJC主催の日本祭です。学生たちにボランティアのことを話しますと、10人もの学生が、「やりたい」と言い出しました。当日はすでに夏休みになっていましたので、アルバイト、旅行、他の行事、また待ち場所に来られなくなった学生が続出しました。それでも5人の学生が参加し、私を含めて6人でMJCのブースのお手伝いをさせていただきました。日本語に制約のある学生たちですが、MJC関係者が親切に指導してくださるので、気持ちよくボランティアの仕事をすることができました。

最初は日本人の数に圧倒され、日本語も出てこなかったようですが、若いということは得なこと、日本人の親切さに気分をよくして、エネルギーに働きました。時間のあいまに食べさせてもらう日本食にも元気付けられ、楽しいボランティアの奉仕をすることができました。中にはボランティアの着ているシャツが気に入ってしまい、それをもらうために急遽ボランティアに変身して参加した学生もいました。

ふたつの日本人コミュニティー関係の行事にボランティアとして参加できたことは、学生たちにとって貴重な経験になりました。不慣れな学生たちを親切に指導してくださいましたMJCの関係者の心からお礼申し上げます。

参加して学生のひとりが感想文を書いてくれましたので、ご覧ください。

The Skokie Cultural Festival and the Japanese Festival of 2007 were both pleasurable. During both festivals I had met with amazing passersby and volunteers.

Skokie Cultural Festival

During the Skokie Cultural Festival, my friend and I met with a father, his baby, and his wife's friend's toddler. As the father spoke to the toddler in a foreign language I was very astonished at how easily she picked up on the second language that she was learning also at school. There, I participated in handing out Origami and even making one of my very own that I still have till this day. I then sat upon the grass and enjoyed the wonderful performances on stage between breaks. At the booth I felt very happy at how everyone was in good spirits.

Japanese Festival of 2007

Although I attended this event with my teacher I was very nervous, however, I soon loosed up when I began volunteering alongside the other volunteers. There, I was happy to eat Japanese food all day between breaks. I volunteered at the drink booth outside alongside other volunteers. During break I was able to watch the performances and enjoyed those also. I volunteered alongside a young woman who had studied Japanese for eight years now and a young man who speaks Japanese, English, and Spanish. I look up to them in hopes of my higher learning in foreign language.

Overall, these two events are my most enjoyable volunteer events till this day. Because of this, I'm very willing to volunteer even more in the near future.

- Edwin Coleman

喜ばれ感謝されている生活部会「お助けまん」グループのお手伝い

新風56号で紹介された“ハンディーマン奉仕活動”についてお知らせします。
お助けできる事柄の代表的な例は次のようなことです。
お手伝いはどなたでも受けられます。(シカゴ日本人会の会員に限りません。)

屋根雨漏りの修理 ・ 冷暖房器具の修理 ・ 電気配線工事 ・ 水道管の修理
フェンスの修理 ・ テレビアンテナ修理 ・ PC用モデムおよびルーターの取り付け
雨どいの修理 看板蛍光灯の取り換えなど その他住居の補修

これだけに限られておりません。お困りの内容を担当者に具体的に相談してください。

なお、修理費としてご寄附いただく額は個人の場合は50ドル見当と部品代です。
(ビジネスの方はご相談ください。)

連絡方法: 電話 847-767-0106 または E-mail: Otasukemen@JapaneseClub.org
ホームページ: www.JapaneseClub.org/otasuke.htm ぜひともご覧ください。



☆「お助けまん」グループからのお願い☆

だんだんと活動範囲が広がっていくとお手伝いの人数ももっと必要となります。
ボランティア活動に皆さんの積極的な参加が望んでいます。

- 皆さんのお手伝い出来ることをお知らせしてください。(人材ファイルに登録したいと思えます。)
- あなたも修理を見学しながら覚えませんか?
- 「お助けまん」の奉仕活動を知らない人にも教えてあげてください。

☆ 組織委員 ☆ 荻野敏雄 ☆ 堀治雄 ☆ 星名修治 ☆ 吉永敬行 ☆

求人・求職の未来形

iii

インテレッセ インターナショナル

全米13拠点+日本の最大ネットワーク

New York Tel: 212-391-9111 Fax: 212-391-7760	Silicon Valley Tel: 650-378-1290 Fax: 650-378-1291	Seattle Tel: 206-652-3456 Fax: 206-652-3455
Cincinnati Tel: 859-372-6660 Fax: 859-372-6658	Washington D.C. Tel: 703-351-3330 Fax: 703-351-3332	Honolulu Tel: 808-922-8849 Fax: 808-922-8859
Atlanta Tel: 770-391-8558 Fax: 770-391-8559	Nashville Tel: 615-783-1715 Fax: 615-783-1806	Tokyo office Tel: 03-3288-7466 Fax: 03-3288-7467
San Diego Tel: 619-209-6083 Fax: 619-209-6084	Houston Tel: 713-513-4802 Fax: 713-513-4803	お問い合わせは お近くの インテレッセまで
Los Angeles Tel: 310-414-9111 Fax: 310-414-9191	Orange County Tel: 714-371-4453 Fax: 714-371-2130	

シカゴオフィスオープン! ダウンタウンでの出張面接有り



Chicago Office

1600 Golf Road, #1200
Rolling Meadows, IL 60008
Tel: 847-981-5105 Fax: 847-981-5106

全米新規登録者 **総額 \$3,000**
キャンペーン!

合計 300 名様にプレゼント。

3月~5月迄に当社に新規で登録頂いた全米の求職者の中から
毎月先着 100 名様にリチャージ可能な \$10 のスターバックスコーヒー券を
プレゼントします。現在、米国内で求職中の方、日本やヨーロッパへの
就職を考えている方もご登録をお待ちしています。
以下のウェブサイトよりご登録ください。

いつでもどこでもジョブフェア www.iicareer.com

初めてのシカゴの夏 フロリダ智子

どれだけの人にシカゴの夏は最高よー！と言われたことか。野外コンサート、ストリートダンススレッション、食のイベント、アートフェスティバルなどなど。イベント盛りだくさんのてんこ盛り。初めは、こうなったら片っ端から参加して楽しんでやろう！なんて思っていたが、そんな夏ももう半分が過ぎてしまった。これまでのハイライトを振り返ってみたい。

7月3日はネイビーピアからあがる花火を家族みんなで座って楽しんだ。家から歩いて行けるグラントパークは鈴なりの人。でもこれだけ広いとせまぜましい感じもしない。皆、芝生などにごろんとして、ピクニックを楽しんでいたよう。私たちはちょうど花火が上がる直前の9時20分頃に着いたが、シエド水族館のイルカの水槽の前あたりに良いスペースがあった。

湖には沢山のボートが浮かんでいるが、それらが一定のエリアに入ってこないように、ポリスの船が行ったり来たりして監視している。バックグラウンドのシカゴの夜景は絵葉書のように、ここに花火が上がってくる様子は期待以上だった。花火といえば、私は上野、浅草あたりで育ったので、やはり隅田川の花火なしでは語れない。今でこそ実家周辺はビルだらけであるが、30年ほど前に花火大会が復活した当時はまだ高いビルはそんなになく、花火会場から2km以上離れた5階建てのビルの屋上からでも隅田川の花火を見物できた。ビールと枝豆、寿司など、子供の時は酒はなかったけど、祖父母もいて賑やかに花火を見たものだった。何よりもこの花火、1時間以上ゆったりと行われるので、私たちは酒盛りを楽しめる。こちらの花火は30分きっかりで終わり。ダイナミックで良かったが、あれ終わり？アンコールは？ないよね、、、。3日の夜はちょうど大粒の雨も降り出し、追い立てられるよう、なかば駆け足で家に帰った。ちなみにスイスの建国記念日は8月1日で、パーゼルでもライン川沿いで前日の夜に大きな花火が打ち上げられ、生のクラシックオーケストラつきで素敵だったが、やはり短いことに変わりはない。なんとなく日本人にとっては物足りない。しかし、今年は面白い花火体験もした。7月4日の夜、ミシガン湖畔へ遊びに行くため、1時間半の運転であったが、道すがらずっと町町の花火を見ながら走ったのだ。遠くに、近くに90分ひつき

りなしに花火が上がり、これは初めての経験で、なかなか面白かった。この夜は夫が運転しており、「あーきれい！ちょっと、ヨソミしないで！」という具合で、私がおいしい思いをさせてもらった。

子供たちのお気に入りの場所は、ミレニウムパーク、クラウン・ファウンテンで、あの不思議な大きな顔の映像付きの柱から水が流れ落ちてくるなんて、冬の間は想像もしていなかった。街のど真ん中に、こんな手ごろなアトラクションがあるので、買い物ついでに遊ばせるなんてこともできて、都合がいい。テイスト・オブ・シカゴも行ってみた。もっと色々テイストしたかったのに、腹を空かせたせっかちな夫と行った為に、リーブだけごっそり買ってばくばく食べてさあ帰ろうときたもんだ。次回は一緒にぶらぶらしてくれる人とゆっくり行きたい。

それと、夏はテラスでの食事が何よりうれしい。友人を招きあうガーデンパーティもまた夏の楽しみ。

夫が野球好きのため、ホワイトソックスの試合はヤンキース戦をいくつか見に行った。ゴジラ君を応援するけど、なぜか私の見に行く日はヒットが出ない。それに比べると井口はヒットや盗塁と色々見せてくれた。(ああ、でもフィリーズへのトレードで、もう彼はホワイトソックスでプレイしていないんですねー。)井口の打席では毎回うなるような観衆の響きが聞こえるため、ブーイングのように聞こえて、どうして？？？と置いていたら、「グーチ！」という掛け声なんだそう。まぎらわしいなあ。それでも実は、野球場に行っても私の楽しみはホットドッグにかぶりつきながらの観戦である。こうして見ると、私の楽しみはすべて「食」に関することであった。次回、野外コンサートにしる、花火にいしる、お弁当持って行ってピクニックしよう。

ああ、それにしても焦る焦る、早く色々しないと夏が終わってしまう。こんな風にあたふたしながら、私にとって初めてのシカゴの夏は過ぎてゆく。

